

休職前の状況報告書の提出において御確認いただきたい点について

今後の支援を検討していくにあたり、休職の要因や休職に至る状況、背景を知る必要があります。直接的な要因だけでなく、背景が分かるよう、具体的なエピソードの御記入をお願いします。

様式第1号（第6条関係）別表2

休職前の状況報告書（教育政策課所管職員）

記入例

対象者	所属名	岡山県立内山下高等学校											
	職氏名	主任 岡山 太郎	性別	男									
	生年月日	昭和 54年 8月 1日（ 36 歳）											
病気休暇期間（休職に引き続く）		平成 27年 9月 16日から平成 27年 12月 14日まで											
休職発令期間		平成 27年 12月 15日から平成 28年 5月 31日まで											
病名	うつ病	病院名 (主治医名)	倉敷メンタルクリニック (五野 太郎)										
過去の病歴（関連する病気での病気休暇及び休職）													
平成	年	月	日	～平成	年	月	日	病休・休職（	病名	）	（	所属	）
平成	年	月	日	～平成	年	月	日	病休・休職（		）	（		）
平成	年	月	日	～平成	年	月	日	病休・休職（		）	（		）
※ 職場 での 状況	業務について		<ul style="list-style-type: none"> ・分掌 支出、物品購入、施設、庶務 ・業務で困っていたことなどなかったか 今年度異動となり、特別会計の支出業務や修繕の業務を初めて担当することもあり、時間外勤務が多くなっていた。 ・年間の平均帰宅時間は何時頃だったか 10時頃に帰宅していた。業務で分からない事があっても相談することがなかったため、一つの業務に時間がかかっていたようだ。 										
	発病前の勤務・生活の様子について		<ul style="list-style-type: none"> 今年度異動してきており、4月から7月は新しい業務に慣れないこともあり、時間外勤務を行う日が多かった。自分から他の職員に話しかけることは一切無く、他の職員も本人に話しかけにくい状況が続いていた。職場では孤立していた。 6月に入り、顔色が悪く、元気がなかったため、事務部長が声をかけ面談を行うと「最近眠れなくなった」「休日でも家に閉じこもっている」「職場に行こうとすると吐き気がする」などの症状があることがわかった。 仕事上の心配なことを聞くと「業務量が多すぎて期限に間に合わない」「考えれば考えるほどできなくなる」と言い、焦燥感にかられていた。 7月になると遅刻や早退も多くなった。書類の整理もできなくなり、机の上は散らかっていた。 										

●直接的な要因だけでなく、過去の勤務歴も含めた勤務上の背景についても分かるように記入してください。ポイントは病気で無かった時との差です。

・異動前後の学校の規模の差、周囲のサポートの差、業務量の差等

●前任校での様子についても記入してください。

異動後3年以上の方についても、前任校での様子が分かる場合は、記入してください。

	職場の環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の構成はどのようなか 事務部長(女性 50代)、班長(女性 40代) 主任(女性 30代)、主事(女性1人 男性1人 どちらも20代) 職員同士普段からよく話をしてきたが、本人は女性が話している輪に入りづらい感じがあった。男性の主事の職員は女性職員の話にも入っていた。
	※異動後2年目以内の場合 は記入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前の職場での勤務状況はどのようなだったか 前の職場では収入、給与、福利事務を担当しており、特に問題なく業務を行っていたようである。
	人間関係について 生徒と業務上関わりがある場合は生徒の様子やコミュニケーションについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の職員とコミュニケーションが取れていたか 自分から他の職員に話しかけることは一切無く、他の職員も本人に話しかけにくい状況だった。職場では孤立していた。 ・ 同僚、管理職は本人の性格や資質をどのようにみていたか。 締切が重なると業務が遅延することがあった。真面目ではあったが、他人に気を遣い過ぎ、周囲へ頼ることがあまり出来ないところがあった。完璧主義のところもあった。
※家庭での状況	家族の構成について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同居家族がいるか (いる場合はその家族構成) 妻と子供(8才の発達障害の長男)と同居している。 ・ 同居家族がない場合本人の支援をする家族はいるか ※いない場合 父親が月に1、2度様子を見に来ている。 ・ 本人が介護をしている家族がいるか 介護者はいない。
	私生活について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での問題は無かったか 妻がパートとして働き始め、育児の負担が増えたことから、昨年度より家でも休んだ気がしない、との話を聞いていた。ただ、妻との関係は悪くは無かったようだ。発達障害の長男は制止がきかず、突然走り出したり、学校で友達に手が出たりとトラブルもあり、悩むことも多かったようだ。長男のことも抱え込んでいたようだ。 ・ プライベートで困っていることは無かったか 特に無かった。
	所属長が発病原因と考えている出来事・エピソード (できるだけ具体的に)	業務が回っていない時などに、適宜相談をすることが出来ていなかったため、一人で抱え込む事があった。また、今年度は異動もあり、環境が変わり慣れない業務をすることになったこと長男の心配事などが重なり疲れが出たようである。

●私生活については、仕事以外で何か負担があったかどうか、がポイントです。

●休職の要因と考えられることは、具体的な状況が分かるように記入してください。

例)「時間外勤務が増えていた」というエピソードの場合

→業務量、内容、周囲のサポートはあったか、業務以外の負担があったか等を含めて記載してください。

記入漏れがないよう御確認いただく必要はありますが、記入欄すべてが埋まっていることが重要なのではなく、記入のポイントの内容が満たされていることを確認してください。